浦町中だより

令和5年度 第10号
令和 6年 1月26日(金)
浦町中学校発行 文責：校長

「生き方は自分で選ぶ」「自分のことを誇れる自分に…」～始業式校長式辞(抜粋)

令和６年、元日から目を疑うようなニュースが流れた。１日の能登半島地震、すでに２週間経ったが壊滅的な被害が出た地域は、未だ復旧どころか手付かずで孤立している地域も多く残されている。被害に遭われた方にお見舞い申し上げるとともに、お亡くなりになられた方々の御冥福を心よりお祈り申し上げます。２日には、我が国最大の利用者数を誇る羽田空港で、前代未聞の飛行機同士の衝突炎上事故もあった。

誰もが当たり前だと思っていたことが、当たり前でなくなる現実に直面することがある。４年前の新型コロナウイルス感染症のパンデミック、遡れば１３年前の東日本大震災も私の記憶には鮮明に残っている。今こうして皆さんと当たり前に笑顔で挨拶し、顔を見て話ができることは、学校では当たり前の光景である。しかし、それが本当に当たり前のことなのかはよく考えなければならない。戦争や災害、不治の病、世の中には様々な思いもよらないことが現実に起こり得る。今を生きていることへのありがたさを思うとともに、皆さんには今を精一杯生きてほしいと願う。生まれは選べないが、生き方は自分で選べるのだから。

年頭の言葉として全員に伝えたいこと。それは「人に勝つことより自分に負けるな」である。自分の力の全てを出し切ったのなら、どんな結果でも自分をほめてほしい。特に３年生諸君、卒業まで残り登校日数は４０日を切った。卒業式や修了式で全校の皆さんが互いの成長を称え合い、笑顔で進学・進級に向けて新たなスタートが切ることができるよう、３学期の全身全霊での取組に期待している。

『なりたい自分を形にする』とは…

本校のグランドデザインや学校経営目標には、「なりたい自分を形にできる学校」の文言が出てきます。どのような意味か簡単に説明すると、「なりたい自分→志や夢を持つ」「形にする→実現のために挑戦する」ことです。生物に共通して、満足感や充足感で充ち足りている時はあまり行動はしないものです。強い意志で行動を起こすきっかけとなるのは目的や目標があるからです。もっと上手くなりたい、さらによい生活がしたい、認められたい、そのような思いや願いが人の心に火を付けるのです。

これは、成功している方や偉人と呼ばれる方だけではありません。中学生の頃、大きな夢を聞かせてくれた教え子が卒業の数年後にその夢を成し遂げ、さらに新たな夢実現に向けて頑張っていることを知らせてくれる機会を何度も得ました。志や夢を実現できるかどうかはやってみなければ分かりませんが、達成できた教え子やその夢・志には、共通した特徴があるようです。

全くの私見ですが、以下に列記します。

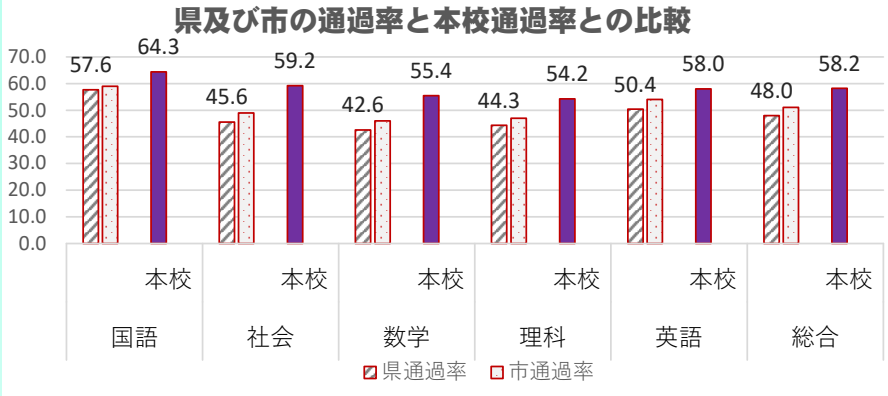
1 好きなこと・興味があることに起因している
2 自分を客観的に理解できている
3 目指す理由・目的がはっきりしている
4 辿り着くまでのルート、やるべきことを把握している
5 よい意味であきらめが悪い

R5.12.15 2学年 立志の会

さて、本校生徒へのアンケートでは、「志や夢」を持つ生徒の割合が全国・全県調査と比べて17pt近く少ない結果が出ており、機会あるごとに生徒に話をしてきました。冬休みを迎えるにあたって、校長より「あなたの志や夢を聞かせて」という課題を出し、多数の諸君（333名）が回答を寄せてくれました（残念ながら全校生徒の27%にあたる121名は未回答）。読み進めていくうちに感動したり感心したりする内容も多く、せっかくの機会ですので、学校だより読者の皆様にも紹介させていただきます。学年や氏名を伏せ、順不同で裏面に掲載しました。２月号３月号でも連載しますが、全員分は紹介できないことを御了承ください。未来社会を背負って立つ本校生徒の心意気を少しでも文面から感じていただければ幸いです。

令和5年度青森県学習状況調査結果と改善のための取組について

右のグラフは、昨年８月に全県の中学２年生を対象に行われた標記調査の結果です。県・本市の平均通過率と本校通過率を比較しています。多少の差異はありますが、全教科とも県や市の平均を超え、全体的に基礎的・基本的な力は身に付いてきていると考えられます。（※通過率とは総正解数を総解答数で割ったもの）



一方で、各教科の分析結果から、次のような課題も見られます。

1 基礎的・基本的な知識が定着してきた群と定着に課題が見られる群の二極化が進んでいる。
2 文章（特に長文）で記述されている内容を的確に読み取ることができていない。
3 文章から読み取った内容や条件、資料などから考察を深めることができていない。
4 説明を記述する際に求められるキーワードや語彙力が不足している。

また、質問紙調査では、今年度指導してきた内容が効果を上げたものと、今後家庭や地域が一体となって取り組んでいかなければならない課題とが浮き彫りになりました。県の平均よりも高い結果(+5pt以上)だった質問項目は次の２点です。

通過率が40%を下回った問題数	合計	
	本市	本校
知識・技能	23	12
思考・判断・表現	21	14

1 授業中に分からない事項は、友人に尋ねたり自分で調べたりする。
2 授業中にパソコンやタブレットなどのＩＣＴ機器を活用して学習を進めている。

一方で、低い結果が出たのは次の３点です。

1 授業以外の１日当たりの読書時間、 2 新聞を読むこと、 3 地域行事への参画度

これらの結果を受け、本校では今後、次の６項目を重点的に指導していきたいと考えます。

1 基礎的・基本的な事項の確実な定着のため、小テストや単元テスト、コンテスト等を実施する。
2 生徒同士で教え合い、説明し合い、議論し合う「学び合い」の場面を確保する。
3 問題演習に多く取り組ませ、問いの内容を的確に読み取り、適切な解答方法や文章表現力を身に付ける。
4 授業における「振り返りの時間」を確保し、課題のまとめで理解度や到達度を確認する場面を設定する。
5 家庭学習の習慣化や、家庭でも読書や文字に多く触れさせる機会をもたせる工夫をする。
6 夢・志の実現のために、利他の心を大事にする指導と自己有用感を感じられる活動を推進する。

これからも浦町中学校では、志を立て、社会や地域に貢献できる人財を育成するために、挑戦してまいります。御支援と御協力をお願いします。

【１月の栄光の記録】

※1/19受理分まで(709)

【第69回青少年読書感想文コンクール青森県審査】
入選　２年:川村 悠月、準佳作　３年:竹内 秋鷹

【令和５年 青森市文化奨励賞】
種目:ピアノ　１年:小山内カエラ

【令和５年 青森市スポーツ奨励賞】
種目:空手　３年:蒔苗 小英

【令和５年 あおもりボランティアマスター認定証】
１年:山田 琉晴

【第21回青森県中学校冬季バドミントン選手権大会】
男子ｼﾝｸﾞﾙｽ 第１位 矢萩 凜斗　第２位 金田 煌永
第３位 髙橋 悠理　第５位 鳴海 瑛人
女子ﾀﾞﾌﾞﾙｽ 第５位 大釜 心蘭・磯野 瑠南

【第16回東北中学校バドミントン選手権大会】
男子ｼﾝｸﾞﾙｽ 第３位 矢萩 凜斗
男子団体 第３位 矢萩 凜斗・坂岡　澪
髙橋 悠理、鳴海 瑛人、金田 煌永

【第51回津軽地区室内陸上競技選手権大会】
中学男子立三段跳 第８位 竹内 賢心
中学女子　４０ｍ 第５位 工藤 愛華

【第42回東青中学校インドアソフトテニス大会】
女子個人 第２位 今川 渚月・髙坂 彩峰

２月の主な行事予定

1日(木)引落日②、代議員会
2日(金)３年期末テスト
3日(土)ＰＴＡ研修委員会
6日(火)私立高校一般受検、ＳＣ来校日
8日(木)新入生体験授業・入学説明会
9日(金)テスト前部活動停止期間～14日
新ニケシャツ採寸～18日
13日(火)ＳＣ来校日
14日(水)１・２年期末テスト(1･2年５時間授業)
私立高校合格発表日
16日(金)３年模擬テストⅦ、ＰＴＡ運営委員会
19日(月)学校運営協議会⑥
20日(火)~~ＳＣ来校日~~⇒別日振替
22日(木)教室他ワックス掛け
27日(火)ＳＣ来校日
28日(水)卒業式練習①
29日(木)1・2年ＰＴＡ例会＆授業参観

令和六年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。